

世界の探検家

青谷上寺地を語る！



国史跡青谷上寺地遺跡再発見講座

弥生の青谷、大いに乱る。

基調講演 「人はなぜ戦うのか」

せきの よしはる

関野吉晴さん（探検家・医師）

朱塗りの楯
（青谷上寺地遺跡出土）



報告1 「弥生時代の戦い」

まつぎ たけひこ

松木武彦さん（考古学）

報告2 「骨からわかった戦いの様子」

いのうえ たかお

井上貴央さん（形態解析学）

トークセッション

「青谷上寺地遺跡の戦いを読み解く」

2016.3/27 日

13:00 ~ 16:30 [開場 12:30]

会場 とりぎん文化会館 第1会議室

■ 参加費 無料

■ 定員 定員 199名

■ 主催 鳥取県教育委員会

■ 共催 史跡青谷上寺地遺跡保存活用協議会

■ 協力 鳥取市教育委員会

公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会

お土産あります。

■ 後援

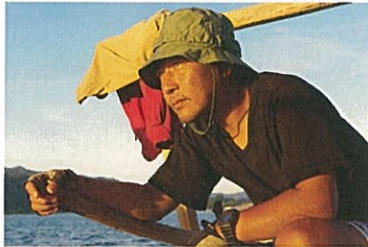
朝日新聞鳥取総局、NHK 鳥取放送局、
山陰中央新報社、産経新聞鳥取支局、
新日本海新聞社、TSK 山陰中央テレビ、
日本海ケーブルネットワーク、日本海テレビ、
BSS 山陰放送、毎日新聞鳥取支局、
読売新聞鳥取支局（順不同）

お問い合わせ ● 鳥取県教育委員会文化財課【電話】0857(26)7932

国史跡青谷上寺地遺跡再発見講座

青谷上寺地遺跡に眠っていたたくさんの弥生人骨には、人々の戦いの記憶が残されていました。人類史、弥生時代における戦いの研究を元に青谷上寺地で起こった戦いをひも解く。

講師紹介



関野吉晴 ◎世界の探検家・文化人類学者にして医師

(武蔵野美術大学教授)

1949年、東京都生まれ。一橋大学法学部、横浜市立大学医学部卒業。一橋大学在学中に探検部を創設。中南米に25年間にわたり旅を重ねる。1993年から人類が拡散していった約5万キロの行程を自力で遊行する「グレートジャーニー」に挑戦。1999年 植村直己冒険賞 受賞 2000年 旅の文化賞 受賞
NHK「SWITCHインタビュー 達人達(たち)」で山極寿一氏(京都大学総長・霊長類学者)と対談



松木武彦 ◎戦いと国家形成の歴史を描く

(国立歴史民俗博物館教授)

1961年、愛媛県生まれ。大阪大学卒業、同大学院博士課程修了。博士(文学)。現在国立歴史民俗博物館教授。専門は日本考古学。最近の研究テーマは、弥生時代～古墳時代の日本列島史と吉備地域史の考古学的調査研究、戦争と平和の考古学的研究等。東京新聞 連載エッセイ「歴史への冒険」



井上貴央 ◎日本の古人骨研究をリード

(鳥取大学名誉教授)

1952年、島根県生まれ。鳥取大学医学部医学科卒業。医学博士。細胞や骨の形を研究する形態学を専門とし、電子顕微鏡を駆使した細胞・組織の解析研究の第一人者。山陰地方の遺跡から発掘された数多くの人骨・動物骨を研究。青谷上寺地遺跡から出土した頭蓋骨から脳を発見。



タイムテーブル

- 12:30 ~ 開場・受付
- 13:00 ~ 開会
- 13:10 ~ 基調講演「人はなぜ戦うのか」
関野吉晴(探検家・医師)
- 14:10 ~ 報告1「弥生時代の戦い」
松木武彦(考古学)
<休憩>
- 15:05 ~ 報告2「骨からわかった戦いの様子」
井上貴央(形態解析学)
- 15:50 ~ トークセッション
「青谷上寺地遺跡の戦いを読み解く」
パネリスト 関野吉晴
松木武彦
井上貴央
コーディネーター 松井 潔
- 16:30 閉会

◎会場位置図



■鳥取駅からバスで
100円バス「くる梨」緑コース「@とりぎん文化会館」下車すぐ
砂丘・湖山・賀露方面行「県庁日赤前」下車すぐ

■JR鳥取駅からタクシーで・・・約5分

■鳥取空港から・・・鳥取駅行連絡バス「県庁日赤前」下車すぐ

■お車で・・・鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
駐車場あり

◎参加費 無料

◎お問い合わせ

〒680-8570 鳥取市東町1丁目271番地
鳥取県教育委員会事務局文化財課
電話 0857-26-7932
ファクシミリ 0857-26-8128
電子メール kyouikubunka@pref.tottori.jp



弥生
青谷